

いきいき  
まえばし人



映画「Rockin' BROADWAY」監督  
清水 宜之さん・35歳  
(D.J.TERRYさん)  
北代田町

音楽ライブに魅せられて

音楽ライブイベントやラジオで  
ディスクジョッキー(DJ)として  
活躍中の清水さん。イベントグルー  
プ「RED HOT GANG」の友  
人たちと共に、約3年掛けて製作し  
た初監督映画「Rockin', B  
ROADWAY」を完成させた。  
この映画は清水さんらが主催す  
るロックなどの音楽ライブイベン  
トのダイジェストが中心。夢を諦め、  
生きる意味を失いつつあった主人公  
がライブに触れ、夢があったことを  
思い出していく物語が綴られる。  
「イベントを立ち上げてから約10  
年経ち、自分はいままで音楽活動が  
できるのか。そして、一緒に活動し  
てきたが、それぞれの事情で去って  
いった友人たちは今、何をしている  
のか。そう考えたとき、主催するイ  
ベントの姿を映画に残したかった」  
そう語る目からは、これまで一緒  
に活動してきた友人たちへの感謝と  
音楽への純粋な気持ちが見える。  
「音楽と映像の世界に出会った  
のは小1のころ。ロックやジャズ、  
映画、ジャンルを問わず気に入った  
ものであれば取り入れてきました。  
今でもそれは変わらないですね」  
高校卒業後からDJとして活動し  
ながら、常に人との交流を大切に  
してきた。陽気な人柄から、周りには  
多くの人が集まり、イベント企画の  
話題などでよく盛り上がる。  
映画は6月18日から20日までシネ  
マまえばしで上映。今後も音楽活動  
を続け、短編映画の作成にも挑戦し  
たいと話す清水さん。その情熱的な  
活動に注目したい。



朔太郎しのび講演や音楽

5月9日、前橋文学館で「朔太郎忌・講演と  
音楽の午後」を開催。詩人・高橋順子さんの講  
演や萩原朔太郎が作詞した曲の合唱、詩の朗読  
などが行われました。訪れた人は、日本近代詩  
を代表する郷土の詩人に思いをはせました。

クローズアップ



心も体もずっと元気に

宮城ふれあいの郷で5月12日、介護予防体  
験ひろばを実施。ピンシャン! 元気体操や脳  
トレーニング、身体測定などを行い、お年寄  
りの健康づくりをサポートしました。たくさ  
んの人が参加し、楽しみながら運動。心と体  
のほぐれた1日になりました。

賢い食の消費者になろう



5月18日、前橋アルサで消費者講座を開催しました。  
食アドバイザー・垣田達哉さんが、食について講演。  
参加者は健康と生命を支える大切な食生活について、  
熱心に耳を傾けていました。

全国広報コンクール3席

日本広報協会が主催する、平成22年全国  
広報コンクール・広報紙(市部)で、「広  
報まえばし」が3席に。受賞したのは、  
「TONTON 食べよう!」を特集した平成21年  
12月15日号。これからも分かりやすい、親  
しみのある広報紙を発行していきます。



いにしえ  
万華鏡  
その十五

明治時代天皇陵に指定された  
国指定史跡 総社三子山古墳

問い合わせは 文化財保護課 23631-9531

JR上越線の新前橋駅から群馬  
総社駅に向かう電車に乗ると、右  
手の車窓に見えてくるのが総社三  
子山古墳です。民家に囲まれた墳  
丘は、たくさんのサクラの木に覆  
われ、花見の名所にもなっていま  
す。

この古墳は6世紀後半に造られ  
ました。大型の前方後円墳で全長  
は110メートルを超えます。埋葬施設  
としての石室が前方部と後円部の  
2カ所にあるのが大きな特徴です。  
前方後円墳の石室は後円部に造ら  
れるのが一般的で、この古墳も最  
初に後円部、その後、前方部に石  
室が付け足されて造られたものと  
考えられています。

明治時代、この古墳は「豊城入  
彦命」の墓として、県内で唯一、  
天皇陵(陵墓参考地)の指定を受  
けたことがあります。明治9年こ  
ろには疑問とされて指定が解除さ  
れましたが、墓守も置かれていま  
した。江戸時代に石室内から立派  
な出土品が数多く出土していたこ  
ろから、当時の宮内省で認定する  
ことになったのでしょうか。



墳頂部の豊城入彦命の石碑

とから、現在の宮内省で認定する  
ことになったのでしょうか。  
豊城入彦命については、日本書  
紀に詳しく書かれています。豊城  
入彦命と弟の活目尊(後の垂仁天  
皇)は、それぞれの見る夢を占い、  
王位継承者を決めると父親の崇神  
天皇から伝えられました。夢占い  
の結果、皇位を継ぐことになった  
のは弟の活目尊でした。豊城入彦  
命は東国を治めるために派遣され  
たそうです。後にヤマト朝廷で極  
めて重要な位置を占めた上毛野君  
や下毛野君は、豊城入彦命の子孫  
に当たるといわれています。  
現在も墳頂に残されている豊城  
入彦命の石碑が、時代の流れを物  
語っています。